

平成 20 年 11 月 6 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

7号機 系統機能試験における燃料装荷を伴う試験について

1. 系統機能試験について

関連する機器を組み合わせた1つの系統を運転することによって、警報やインターロックの作動、弁の開閉、ポンプの運転性能等の状況を確認し、系統全体の性能が発揮されることを評価するものです。

2. 燃料装荷作業の目的について

7号機の系統機能試験(23項目)のなかで、次の5試験については、原子炉に燃料を装荷したうえで、原子炉の安全機能として重要な「止める」機能等について確認を行う必要があります。今後、これらの試験を実施するために燃料を装荷する予定です。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・制御棒駆動系機能検査
- ・制御棒駆動機構機能検査
- ・選択制御棒挿入機能検査
- ・原子炉格納容器漏えい率検査

なお、燃料装荷を伴う上記の5試験については、原子炉の蒸気を必要としない試験ですので、原子炉を臨界(原子炉の起動)にすることはありません。

3. 燃料装荷を伴う5試験の開始時期について

燃料装荷作業は、通常、10日間程度かかります。(11月8日~16日予定)

燃料装荷を伴う試験の開始時期については、準備が整い次第、週報でお知らせします。

以 上